

## 第5学年 外国語活動 学習指導案

亀山市立川崎小学校

1. 単元名 Unit5 She can run fast. He can jump high. (We Can! 1 文部科学省)

2. 単元目標

- ・自分や相手について、できることやできないことを聞いたり、言ったりする。  
(外国語への慣れ親しみ)
- ・文字には音があることに気づく。  
(言語や文化に対する気付き)
- ・他者に配慮しながら、自分や身近な人についてできることやできないことなどを紹介しようとする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

3. 言語材料

- ・ Can you (sing well)? Yes, I can. /No, I can't. [I / You / He / She] [can / can't] (sing well).
- ・ 動作 : play [the recorder / the piano], ride a [bicycle / unicycle], swim, skate, ski, cook, dance, run fast, jump high, sing well
- ・ その他 : can, can't, he, she, Mr., Ms., net, omelet
- ・ [既出表現] スポーツ、動作、日課、not

4. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと (発表)	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

5. 中学校外国語科との関連

- 1年 One World Lesson 4 キング先生の家族 三人称 (He, She)
- 1年 One World Lesson 7 マンガ大好き 助動詞 (can, can't)

6. 単元について

本単元では、三人称 (He / She) を使った表現や、できることやできないこと (can/can't) の表現に初めて出会う。これまでの外国語活動の学習では、一人称や二人称を使って考えを伝え合ってきた。三人称を学習することにより、その場にはいない人物のことも話することができるようになり、相手に伝える内容を大きく広げることにつながる。三人称単数形の動詞変化を本単元で扱うことは、小学生には負荷が大きい。そこで、本単元では can とともに扱うことで動詞変化を回避している。児童が can を使ってできることを紹介し合ったり、相手ができることを認め合ったりする活動は、他者への配慮が必要であり、学級が学習集団へと高まることが期待される。

また、この単元では、文字には名称のほかに音があることに気付かせ、それに慣れ親しむこともねらいとしている。それぞれの文字で始まる単語の初頭音に意識を向けさせ、文字の音への気付きを促すことで、単語を類推して読む力につなげたい。

7. 指導について

外国語活動は、45分の授業週1回と朝15分の短時間学習を週に3回行い、年間70時間の授業を行っている。45分の授業では、Greeting、Warming up、Practice、Activity、Looking back、Closingの活動を基本とし、特にActivityを中心に授業を組み立てている。また、授業の流れを掲示し、児童に活動の見通しをもたせている。短時間学習では、学習している単元に関連する英単語の発音、Let's Chant や Let's Playなどを週3回取り組んでいる。教室にクラスルームイングリッシュや既習語彙を掲示し語彙を増やす工夫もしている。

本單元では、動物たちが速さなどを競い合っている様子を見ることや世界で活躍するスポーツ選手、研究者についての話を聞くことを通して「できる」「できない」の表現に出会う。次に、できること、できないことについて話しているのを聞き、その内容を別の子どもが紹介する場面から三人称の表現を知る。

本時の学習では先生を紹介することを通して、三人称(He / She)やcanなどの表現方法に親しむことをねらいとしている。Small Talkでは、HRTやALTのできることやできないことなどを話す。その中でHRTやALTと児童が受け答えする場面を設け、本時の見通しをもたせる。児童が教師にインタビューする活動では、身近な人を知る楽しさを実感させるため、児童の質問に答える教師がYes, I can.やNo, I can't.だけでなく、できること(I can ~)も付け加えて話す。そして、身近な人について知った喜びを表現させるため、Good.Nice.などのリアクションを使わせていく。相手のことを知り、考えや気持ちを認め、他者へ配慮することの必要性を実感させたい。先生を紹介する活動では、ワールド・カフェ・スタイルで行い、様々なペアで紹介し合うようにする。紹介では、三人称(He / She)を使い、インタビューしてきたことを話させる。Looking backの時に、ワールド・カフェ・スタイルで紹介し合った中で、一番印象に残っていることをワークシートの「～さんから聞いた～先生のできること」に書かせる。

#### 8. 単元計画(全8時間、本時7/8)

次	時間	授業時間	主な活動(【】、○) 【】＝紙面化されている活動
1	1-1	短時間学習	Let's Chant Can you sing well? を歌う。
	1-2		アルファベットの発音に気を付けて、Jingle を歌う。
	2	45分授業	・誰が一番速く走れるか、高く跳べるかなど、動物たちが競っている様子を見て、I can ~. You can ~.の意味を理解する。 ・「できる」「できない」を表す表現を使い、慣れ親しんできた動作を表す語句で友だちのできること、できないことをインタビューする。
	1-3	短時間	友だちのできることやできないことを聞いて知ろう。
2	3-1	短時間学習	動作を表す言葉を繰り返し発音したりジェスチャーしたりする。
	3-2		自分ができること、できないことを紹介する。
	4	45分授業	・友だちができること、できないことを紹介する場面でHeやSheなどの三人称に出会う。
	3-3	短時間	HeやSheの使い方を確認する。
3	5-1	短時間学習	できること、できないことをインタビューする。
	5-2		友だちのことを紹介する。①
	5-3		友だちのことを紹介する。②
	6	45分授業	・インタビューする先生を決め、インタビューする内容を考える。 班でインタビューの練習を行う。

4	7 本時	45分 授業	・校内の先生にインタビューをして、相手のできることやできないことを聞き、その内容を紹介する。
	8-1	短時間 学習	Let's Listen3 を聞く。 Who is he? や Who is she? のクイズについて知る。
	8-2		班で先生のクイズを考える。
	8-3		全体交流で校内の先生のできること、できないことをクイズにする。

9. 本時について

(1) 本時の目標

- ・インタビューをして、相手のできることやできないことを聞き、その内容を紹介する。

(2) 本時の指導過程 (45分)

児童の学習活動	指導者の活動と留意点・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評</span> 評価<方法>	
	HRT	ALT
<p>1. Greeting</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> <li>Let's start English.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に挨拶をする。</li> <li>・元気よく挨拶し楽しい雰囲気を作る。</li> <li>・ALT の問いかけの補助をする。</li> <li>・4つのルールを確認する。 ( Smile, Eye contact, Listen carefully, Clear voice)</li> <li>・リアクションの確認をする。 (Good, Great, Perfect, Excellent, Me too, Cool, I see., Wow.)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と一緒に挨拶をする。</li> <li>・天気や今日の日付などをテンポよく問いかける。</li> </ul>
<p>2. Warming up</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Let's Chant p35</li> <li>Can you sing well? を歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と一緒に歌う。</li> <li>・最初に普通のスピードで聞く。</li> <li>・児童が歌いやすいようにスピードが遅い方から歌わせ、その後普通のスピードで歌わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と一緒に歌う。</li> </ul>
<p>3. Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HRT と ALT のやり取りを見た後、ALT とやり取りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてにつなげるため、HRT と ALT と会話した後、ALT と児童でやり取りをする。</li> <li>・リアクションを取りながら話をする。</li> <li>・ピクチャーカードやイラストを見せながら話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HRT と好きなスポーツや食べ物などを会話する。</li> </ul>

4つのルールを児童に言わせて確認する。  
リアクションとともにジェスチャーを交えて確認を行う。

既習表現を使って、児童の興味関心を引く会話を聞かせる。

<p>【Small Talk】  ALT: Great! They can sing very well.  H: Yes. Do you like singing?  A: Yes, I do. I like singing. I can sing Japanese songs!  H: Oh! Really? That's great! Do you like Japanese songs?  A: Yes. I like Japanese songs and Japanese food.  H: Wow. You like Japanese food. What Japanese food do you like?  A: I like Sushi. I love Salmon very much.  H: Me, too. What Japanese food do you like? (児童に問いかける)  H: (ALTに) Can you cook any Japanese food?  A: Yes, I can. I can cook Okonomiyaki.  H: You can cook Okonomiyaki. Very nice.  Can you cook Okonomiyaki? (児童に問いかける)  A: I like Japanese sports, too. Can you do Kendo?  Can you do Kendo? (児童に問いかける)  H: No, I can't. I can't do Kendo. But I can play baseball.  A: I see. I can play baseball, too.</p>	<p>本時のターゲットセンテンスを意識し、リアクションやジェスチャーを交えながら行う。  特に“can”, “can't”はゆっくりはつきり行う。</p>	
<p>4. Today's Goal  ・本時のめあてを確認する。</p>		<p>好きな食べ物の写真を用意し、食べ物を示しながら話をする。</p> <p>既習表現を使い、質問を行い、やり取りを広げる。  HRTは児童が困っていたら支援をする。</p>
<p>川崎小の先生のできることやできないことを聞いて紹介しよう。</p>		
<p>5. Practice  ・英単語の発音練習を行う。</p> <p>テンポよく行う。  HRTとALTは役割分担をし、時間の無駄なく進められるよう工夫する。</p>	<p>・Clear voiceで発音するように指示する。  ・発音したフラッシュカードを黒板に貼っていく。</p>	<p>・フラッシュカードを使い、本時に関わる英単語の発音を練習する。</p> <p>児童が本当に聞きたいことが質問できるよう、We Can! にない表現も確認する。</p>
<p>6. Activity①  ・デモンストレーションを見て、活動の見通しをもつ。</p> <p>・先生にインタビューする。  Can you ~ ?</p>	<p>・ALTとActivity①のデモンストレーションを行い、児童に活動の見通しをもたせる。  ・インタビューする時の注意点を確認する。  ・予め用意しておいたワークシートを出す。</p> <p>・インタビューできずにいる児童にはカードを渡す。  評インタビューする相手にできることを尋ねているか。</p>	<p>・HRTとActivityのデモンストレーションを行う。</p> <p>・先生にインタビューできずにいる児童へ助言をする。</p>

<p>・リアクション Great. Good. Nice. That's nice. Sounds good. I see. I know. Really? Me, too. One more please.など</p> <p>7. Activity②</p> <p>・デモンストレーション を見て、活動の見通し をもつ。</p> <p>・先生ができること、で きないことをワールド ・カフェ・スタイル で紹介する。 He can/ can't ~ . She can/ can't ~ .</p> <p>・中間交流を行</p> <p>・たくさんペアを変え、発話 数、やり取りの機会を増や す。 ・紹介するときに写真やイ ラストを準備する。</p> <p>8. Looking back</p> <p>・本時の活動について振 り返る。 ・振り返りシートに本時 の振り返りを記入す る。</p> <p>9. Closing Let's finish English. Goodbye. See you</p>	<p>・ALT と Activity②のデモンストレー ションを行い、児童に活動の見通し をもたせる。</p> <p>・ワールド・カフェ・スタイルでイン タビューした先生のできること、で きないことを紹介させ合う。</p> <p>・机間指導し、紹介できずに困ってい る児童はカードやジェスチャーで 紹介させる。</p> <p>・中間交流をさせる。</p> <p>・紹介している活動を見て、良いリア クションをしているペアや He/ She can ~. を複数回使ったり、そ れ以外の表現を使っているペアが いた場合、指名し発表させる。</p> <p>・ペアのリアクションが小さい場合 は、リアクションを確認する。</p> <p>評相手に第三者について、He, She を使ってできること、できないこと を伝えているか。</p> <p>・振り返り用紙に本時の学習で紹介 した先生のできること・できないこ とを書く。He can ~. She can ~. などで書かせる。</p> <p>・一緒に挨拶をする。</p>	<p>まず最初に、隣の席の児童と行い、 困ったことはなかったか等確認する。</p> <p>・HRT と Activity②のデモン ストレーションを行う。</p> <p>・机間指導し、困っている 児童には助言する。</p> <p>“He like”や“she like”のように 文法的に間違った表現が予想 される。既習表現を使うこと に対しては評価した後、正しい 表現を確認する。ただし、文 法的な説明は行わない。</p> <p>児童本人がインタビューで聞き 取ったことではなく、友だちとの やり取りで知ったことを残す。 やり取りの内容を振り返る時間 とすることが大切。</p> <p>・一緒に挨拶をする。</p>
---	--	--

(3) 板書計画

日にち	<b>Today's Goal</b>
曜日	川崎小の先生のできることやできないことを聞いて紹介しよう。
天気	Can you ~ ?
Greeting Warming up Small talk Practice Activity① Activity② Looking back Closing	イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト
	リアクション
	イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト
	リアクション

第5学年 外国語活動 学習指導案

亀山市立川崎小学校

1. 単元名 Unit5 She can run fast. He can jump high. (We Can! 1 文部科学省)

9. 本時について

(1) 本時の目標

・インタビューをして、相手のできることやできないことを聞き、その内容を紹介する。

(2) 本時の指導過程 (45分)

児童の学習活動	指導者の活動と留意点・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">評</span> 評価<方法>	
	HRT	ALT
<p>1. Greeting</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶をする。</li> <li>Let's start English.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一緒に挨拶をする。</li> <li>元気よく挨拶し楽しい雰囲気を作る。</li> <li>ALT の問いかけの補助をする。</li> <li>4つのルールを確認する。 ( Smile, Eye contact, Listen carefully, Clear voice)</li> <li>リアクションの確認をする。 (Good, Great, Perfect, Excellent, Me,too, Cool, I see., Wow.)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と一緒に挨拶をする。</li> <li>天気や今日の日付などをテンポよく問いかける。</li> </ul>
<p>2. Warming up</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Let's Chant p35</li> <li>Can you sing well?</li> <li>を歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と一緒に歌う。</li> <li>最初に普通のスピードで聞く。</li> <li>児童が歌いやすいようにスピードが遅い方から歌わせ、その後普通のスピードで歌わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と一緒に歌う。</li> </ul>
<p>3. Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>HRT と ALT のやりとりを見た後、ALT とやりとりをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあてにつなげるため、HRT と ALT と会話した後、ALT と児童でやりとりをする。</li> <li>リアクションを取りながら話をする。</li> <li>ピクチャーカードやイラストを見せながら話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HRT と好きなスポーツや食べ物などを会話する。</li> </ul>

【Small Talk】

ALT: Great! They can sing very well.

H: Yes. Do you like singing?

A: Yes, I do. I like singing. I can sing Japanese songs!

H: Oh! Really? That's great! Do you like Japanese songs?

A: Yes. I like Japanese songs and Japanese food.

H: Wow. You like Japanese food. What Japanese food do you like?

A: I like Sushi. I love Salmon very much.

H: Me, too. What Japanese food do you like? (児童に問いかける)

H: (ALTに) Can you cook any Japanese food?

A: Yes, I can. I can cook Okonomiyaki.

H: You can cook Okonomiyaki. Very nice.

Can you cook Okonomiyaki? (児童に問いかける)

A: I like Japanese sports, too. Can you do Kendo?

Can you do Kendo? (児童に問いかける)

H: No, I can't. I can't do Kendo. But I can play baseball.

A: I see. I can play baseball, too.

4. Today's Goal

- 本時のめあてを確認する。

川崎小の先生のできることやできないことを聞いて紹介しよう。

5. Practice

- 英単語の発音練習を行う。

- **Clear voice** で発音するように指示する。
- 発音したフラッシュカードを黒板に貼っていく。

- フラッシュカードを使い、本時に関わる英単語の発音を練習する。

6. Activity①

- デモンストレーションを見て、活動の見通しをもつ。

- ALT と Activity①のデモンストレーションを行い、児童に活動の見通しをもたせる。
- インタビューする時の注意点を確認する。
- 予め用意しておいたワークシートを出す。

- HRT と Activity のデモンストレーションを行う。

- 先生にインタビューする。

Can you ~ ?

- インタビューできずにいる児童にはカードを渡す。
- 評インタビューする相手にできることを尋ねているか。

- 先生にインタビューできずにいる児童へ助言をする。

- リアクション

Great. Good. Nice.  
That's nice. Sounds good. I see. I know.



<p>Really? Me, too. One more please.など</p> <p>7. Activity②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デモンストレーションを見て、活動の見通しをもつ。</li> <li>・先生ができること、できないことをワールド・カフェ・スタイルで紹介する。 He can/ can't ～ . She can/ can't ～ .</li> <li>・中間交流を行う。</li> </ul> <p>8. Looking back</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動について振り返る。</li> <li>・振り返りシートに本時の振り返りを記入する。</li> </ul> <p>9. Closing</p> <p>Let's finish English. Goodbye. See you</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT と Activity②のデモンストレーションを行い、児童に活動の見通しをもたせる。</li> <li>・ワールド・カフェ・スタイルでインタビューした先生のできること、できないことを紹介させ合う。</li> <li>・机間指導し、紹介できずに困っている児童はカードやジェスチャーで紹介させる。</li> <li>・中間交流をさせる。</li> <li>・紹介している活動を見て、良いリアクションをしているペアや He/ She can ～. を複数回使ったり、それ以外の表現を使っているペアがいた場合、指名し発表させる。</li> <li>・ペアのリアクションが小さい場合は、リアクションを確認する。</li> <li>評相手に第三者について、He, She を使ってできること、できないことを伝えているか。</li> <li>・振り返り用紙に本時の学習で紹介した先生のできること・できないことを書く。He can ～. She can ～. などで書かせる。</li> <li>・一緒に挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HRT と Activity②のデモンストレーションを行う。</li> <li>・机間指導し、困っている児童には助言する。</li> <li>・一緒に挨拶をする。</li> </ul>
---	--	--